

お客様や社会の期待に応えながら 価値を創出しつづけてきました



リコー創業者・市村清は、三愛精神「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」を経営哲学とし、その経営にあたりました。

創業者 市村清
(1900年-1968年)

1936-

創業— 事務機分野進出

感光紙事業から始まり、カメラ事業ではカメラの大量生産体制をわが国で初めて確立し、一般大衆へのカメラの普及を促進。事務機分野へも進出しました。

- 事業の歩み
- ESGの歩み

- 1936 ● 理研感光紙株式会社設立 (リコーグループ創業)
- 1938 ● 社名を理研光学工業株式会社に変更
- 1950 ● 「リコーフレックスⅢ」を発売
- 1955 ● ジアソ複写機の1号機「リコピー101」発売
- 1962 ● 「リコーオートハーフ」発売
 - アメリカに現地法人 Ricoh Industries, U.S.A. Inc. 設立
- 1965 ● 静電複写機「電子リコピーBS-1」発売
- 1967 ● 電動式計算機「リコマック201」発売



リコーフレックスⅢ



リコピー101



電子リコピーBS-1

1970-

オフィス・ オートメーション (OA)を提唱

業界で初めてOAを提唱。普通紙複写機をはじめ、さまざまな機器を提供し、オフィスの生産性向上を支援しました。

* PPC: plain paper copier (普通紙複写機)

- 1971 ● オフィスコンピューターの1号機「リコム8」発売
- 1972 ● 乾式PPC*「リコーPPC900」発売
- 1973 ● アメリカに生産関連会社 Ricoh Electronics, Inc. 設立
- 1974 ● 事務用高速ファクシミリ1号機「リファクス600S」発売
- 1976 ● 環境推進室設立
- 1977 ● 業界で初めてOAを提唱
- 1979 ● アメリカに研究開発のための現地法人 Ricoh Systems, Inc. 設立
- 1980 ● 食品POSシステム用の感熱紙「リコーサーマルペーパータイプ110LA」発売
- 1983 ● レーザープリンター「リコーLP4120」発売



リファクス600S



リコム8



リコーLP4120

1985-

デジタル化を 推進

アナログ複写機からデジタル複合機(MFP)へ移行、普及にも貢献。その後もネットワーク化・カラー化を推進しました。

- 1987 ● デジタル複写機「MAGIO 320」発売
- 1990 ● デジタルカラー複写機「アーテージ8000」発売
- 1991 ● 中国・深圳市に生産会社 Ricoh Asia Industry (Shenzhen) Ltd. 設立
- 1992 ● 「リコー環境綱領」制定、ISO9002取得
- 1995 ● 御殿場事業所が「ISO/DIS 14001」の日本の認証機関による第1号の認証を取得
- 1995 ● アメリカ Savin Corporation、イギリス Gestetner Holdings PLC を子会社化
 - リコー初のデジタルカメラ「DC-1」発売
- 1996 ● 世界初の書き換え可能なCD-RW ディスク発売
- 1999 ● 日本経営品質賞(JQA)受賞



アーテージ8000



DC-1



CD-RW ディスク

2000-

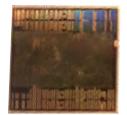
グローバル カンパニーへ

グローバルな販売体制を構築し、海外売上高比率が50%を超えました。同時に、CSR室を発足させるなどグローバルカンパニーとして企業の社会的責任に本格的に取り組み始めました。

- 2000 ● 社外取締役招聘、執行役員制度導入
- 2001 ● 世界で初めて動画の処理を実現した「JPEG2000準拠LSI」開発
- 2002 ● 「国連グローバル・コンパクト」に署名
- 2003 ● CSR室発足
 - リコーグループCSR憲章制定
 - リコーグループ行動規範制定
 - リコーグループがWEC (World Environment Center) ゴールドメダル受賞
- 2004 ● 日立プリンティングソリューションズを子会社化
- 2006 ● 2050年長期環境ビジョン策定
- 2007 ● リコーとIBMの共同出資会社 InfoPrint Solutions Companyが営業開始
- 2008 ● カラープロダクションプリンター「RICOH Pro C900」発売
 - アメリカIKON Office Solutions, Inc.を子会社化
- 2009 ● 生物多様性方針制定



WEC
ゴールドメダル



JPEG2000準拠LSI



RICOH Pro C900

2010-

新たなお客様価値の 創造へ

お客様のワークスタイルの急速な変化に伴い、価値提供領域も大きく広がり始めました。

- 2011 ● ペンタックスリコーイメージング株式会社を発足
(現：リコーイメージング株式会社)
 - 超短焦点プロジェクター「RICOH PJ WX4130N」発売
 - テレビ会議システム「RICOH Unified Communication System P3000」発売
- 2013 ● 「RICOH Interactive Whiteboard D5500」発売
 - 全天球カメラ「RICOH THETA」発売
- 2014 ● アディティブ・マニュファクチャリング事業に参入
- 2015 ● リコー環境事業開発センター開所
 - RICOH Future House開設
- 2016 ● ヘルスケア分野に参入
- 2017 ● 新環境目標を設定
- 2018 ● ESG委員会設立
- 2019 ● リスクマネジメント委員会設立
- 2019 ● 新世代MFP「RICOH IM Cシリーズ」発売



RICOH Interactive
Whiteboard D5500

RICOH Unified
Communication System P3000



RICOH PJ
WX4130N



RICOH
THETA



RICOH IM C6000